

外来化学療法部

■ スタッフ

部長 水野聡朗
副部長 小林哲
 安田裕美
看護師 小林やよい
薬剤師（主任） 世古口典子
 山田真帆

■ 診療科の特色・診療対象疾患

1. 外来化学療法部とは

近年、がんに対する薬物療法は、目覚ましい進歩を遂げ、外科手術、放射線治療、内視鏡的治療、IVR 的治療とともに重要な位置を占めています。様々な腫瘍で薬物療法が実施されていますが、その多くが、生活の質（Quality of Life : QOL）の観点から外来治療として実施されています。このような背景から、2015 年 5 月に開設された新外来棟では、外来化学療法部は治療ユニットを 34 に増床し、増加する外来治療に適切に対応できるよう体制整備を行いました。

2. 主な診療対象疾患

がん薬物療法を専門とするスタッフ（医師、看護師、薬剤師）のもと、関係する診療科と緊密に連携して治療を行っています。

標準的治療のほか、新規治療開発のための臨床試験、治験なども受け入れております。

主な対象疾患は、治療・領域別に分けますと下記のように分類されます。

- 固形腫瘍（肺癌、乳癌、消化管腫瘍、肝癌、胆道癌、膵癌、婦人科癌、泌尿器癌など）に対する化学療法、分子標的治療、免疫療法
- 悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など造血器腫瘍に対する薬物療法
- 小児がんに対する薬物療法
- 炎症性腸疾患・リウマチに対する薬物療法

■ 診療体制と実績

診療体制が整備された 2016 年以降は、地域がん拠点病院の一部門として、より高度で専門的な役割を果たせるよう、新たな取り組みを開始しました。

臨床試験・治験の外来治療の体制整備もその一つになります。治験などの治療においては、通常治療と異なり、治療中の厳密なバイタルのモニターや薬物動態の採血を要する場合があります。このような要望

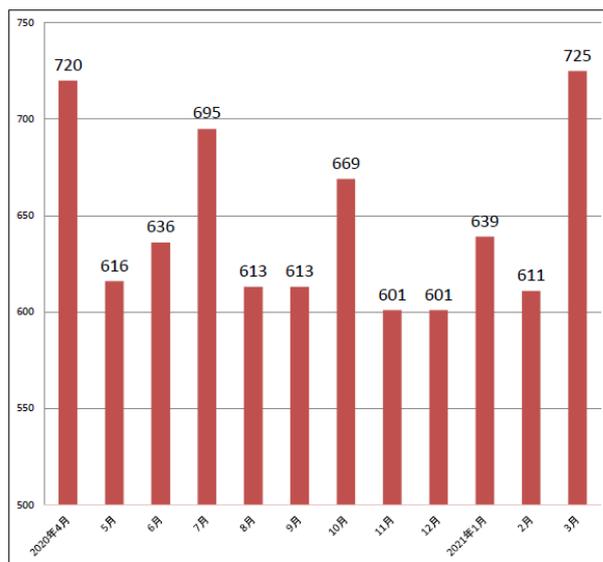
に対応するため、治験専用ベット・指示簿等の整備、治験管理センターのスタッフとの連携を強化しています。

2020 年 4 月から 2021 年 3 月までの診療実績を以下に提示します。

● 月別の治療実施件数

新規薬剤の増加や薬剤の適応拡大もあり、外来化学療法加算の月別件数も平均 645 と過去 5 年間でもっとも高い数値となりました。

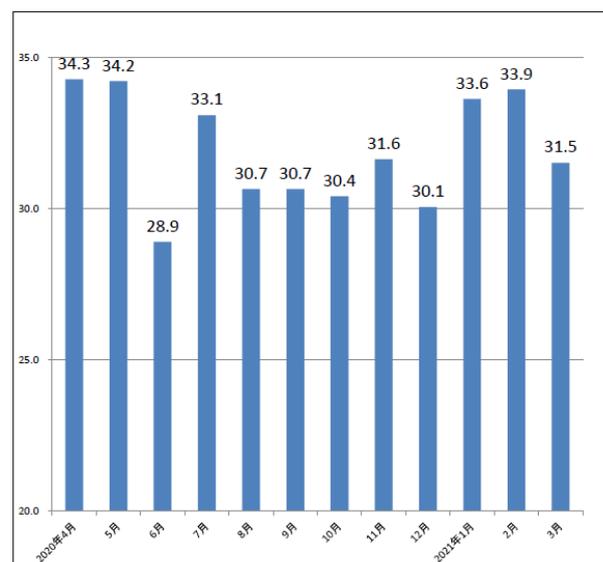
(1) 外来化学療法加算月別件数(2020年4月～2021年3月)



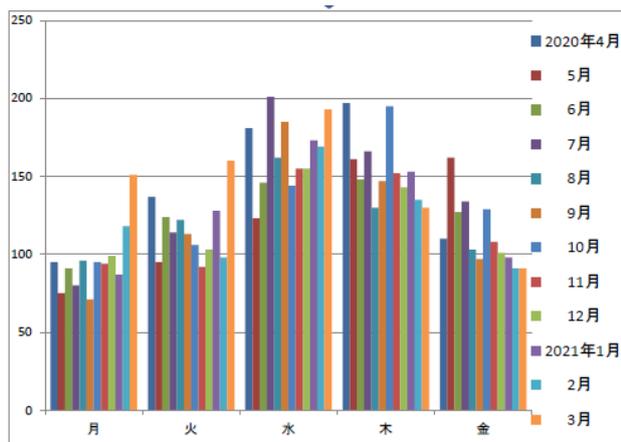
● 1日の平均件数

1日の平均実施件数も年間を通して高い水準（平均 31.9 件）となりました。

(2) 1日平均月別件数(2020年4月～2021年3月)



● 曜日別実施数



特に、水曜、木曜において高い数値で推移し、多い時には1日の実施件数が70以上になり、安全性の確保が難しい状況になることも認められました。

実施件数増加の問題に対しては、これまでも関連する診療科の協力のもと、曜日の変更(余裕のある月曜への移動)、長時間レジメン(具体的には4時間を超える)の入院での実施など対策を講じてきました。しかしながら、外来治療はますます増加することが予想されるため、これらの対応では効果は限定的と判断し、2020年より1日実施件数を最大60名までとする人数制限を設けました。

● 診療科別の実施件数

診療科別での実施状況は、大きくは変わっておりません。腫瘍内科、肝胆膵外科、消化管外科、血液内科、呼吸器内科、腎泌尿器科の診療科において高い実施件数となっております。

また、免疫チェックポイント阻害薬などが新たに承認された肝臓癌を担当する消化器内科の実施件数増加がみられました。

においても質の高いケアが提供できるよう外来化学療法部主催(後援:三重大学がんセンター)でがん薬物療法セミナーを昨年度から開始しました。過去のセミナーは下記の通りです。

- 第7回 2019年2月19日
テーマ「AYA世代のがん医療」
- 第8回 2019年5月14日
テーマ「免疫療法の副作用管理」
- 第9回 2019年10月29日
テーマ「高齢者」

残念ながら、2020年はコロナ感染症の蔓延により、セミナーを開催することはできませんでした。2021年度には、Web形式での再開を目指して準備しております。

● 経口抗がん薬サポートチーム

2019年から一部の診療科で試験的に導入していた経口抗がん剤の外来でのマネージメントについて、2020年度から「経口抗がん薬サポートチーム」として本格運用を開始しました。

具体的な診療は、毎日、午後2時から一人30分で最大4名まで対応できるようにしています。支援内容としては、経口抗がん剤特有の副作用管理のほか、高額な薬剤が少なくない分子標的治療薬についてはMSWの介入により治療費に関するサポートも行っています。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/>(ホームページ)

(5) 診療科別月別件数(2020年4月～2021年3月)

診療科名	脳内	整形外科	皮膚科	小児科	耳鼻科	皮膚科	泌尿科	呼吸器科	消化器科	血液科	腫瘍科	泌尿科	小児科	放射線科	リウマチ科	産科	合計			
2020年4月	1	16	46	37	3	13	1	3	48	58	0	59	198	90	133	3	0	11	0	720
5月	1	19	34	35	3	10	0	5	39	56	0	39	161	90	108	1	0	15	0	616
6月	1	13	30	37	4	10	0	6	34	48	0	52	207	83	92	3	0	16	0	636
7月	1	18	42	54	3	7	0	11	45	51	0	50	188	89	116	1	0	19	0	695
8月	1	15	33	48	2	5	0	5	40	43	0	43	172	74	112	3	0	17	0	613
9月	1	14	26	41	2	8	0	4	45	34	0	38	182	87	113	1	1	16	0	613
10月	0	14	26	45	7	6	0	5	59	36	0	44	184	93	131	3	0	16	0	669
11月	2	16	24	35	1	5	1	5	61	36	1	48	154	81	111	2	0	18	0	601
12月	2	15	25	36	3	3	0	4	52	32	0	43	181	84	103	3	0	15	0	601
2021年1月	1	13	26	42	1	4	0	3	74	35	0	40	181	82	119	1	0	17	0	639
2月	2	14	20	32	1	3	0	4	62	37	0	49	175	83	111	3	0	15	0	611
3月	2	16	25	41	2	2	1	3	71	42	0	60	206	86	144	1	2	21	0	725

■ 臨床研究等の実績

● がん薬物療法セミナー

複雑化するがん治療において、副作用管理はこれまでになく重視されています。そこで、支持療法に関する最新の情報を共有し、入院・外来治療のいずれに